

● 移住交流支援センターだより ●



NPO法人
グリーンバレー
の伊藤が
お届けします。
お問合せ
☎676-1177
IP：2028

空き家の活用を一緒に

考えてみませんか？

町内に空き家を持っている、親戚の家が空き家になった、同じ在所の空き家の管理を任されているという方が、みなさんの中にはいらっしゃると思います。たとえ空き家として定期的な管理をしていても、家はじわじわと傷んでしまっています。日常的に利用されてこそ、家は生き生きとした状態を維持でき、生活や交流が営まれて、地域にも活気が生まれます。また一口に空き家の活用と言っても、若い家族に長期で貸すことも、数年間と期間を決めて貸すこともでき、いろいろな方法が考えられます。

新規移住 相談件数

12月…4件
1月…6件



身の回りの空き家について、一緒に考えなおしてみませんか？担当の伊藤が現地まで相談に伺いますので、センターまでお気軽にお問合せください。

今月のインタビュー

神領北の株式会社えんがわで働く、兼村雅彦さんをご紹介します。兼村さんは秋の4K徳島映画祭で上映された、映像作品「神山すだち」の担当もされていました。

〈移住のきっかけ〉

大学時代に東京で暮らしてみて、地元の沖縄を客観的に見るこができるようになり、日本の地



かねむら まさひこ
兼村 雅彦 沖縄県出身

上分字川又在住

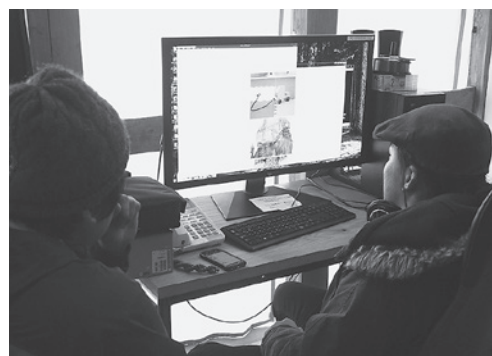
方に興味を持つようになり、就職活動がうまくいかず、大学卒業後も仕事を探しているなか、約3年前に神山塾の6期生として神山に移住しました。

〈お仕事について〉

神山塾を卒業後えんがわに就職し、映像の撮影、編集、企画などを担当しています。「神山アーカイブス」というまちの記録映像や、徳島県の観光PR動画、「すだち栽培60周年記念として「神山すだち」を制作してきました。他にも、テレビ局のアナログテープをデジタルに変換する業務や、テレビ放送の番組編成を代行する業務もあります。

〈神山すだちについて〉

神山のすだちが全国に普及するまでの歴史を、すだちの栽培と販売に尽力してきた4名の方のイ



〈今後の抱負〉

インタビューを通じて紹介した、約23分間の映像作品です。当時を知る関係者が高齢になるなか、歴史の裏で活躍した人たちのエピソードを、若い人たちにも知ってもらえたらと思います。鬼籠野地区をはじめ、また町内で上映会を開催していきたいです。

2月からは番組編成の業務を担当する部署に異動したのを、また1つずつ目の前のことをこなしていきたいです。いつかは沖縄に帰るかもしれませんが、できる仕事の範囲が広がっていくと、自分の将来の選択肢も少しずつ増えていく気がしています。



「神山すだち」の1シーン